



平成19年12月10日

**「2007 船員就業フェア in FUKUOKA」の開催結果について**

船員の雇用の促進を図るため、求人者と求職者を一堂に集め、就職面接を集中的かつ効率的に行うことを目的とした「2007 船員就業フェア in FUKUOKA」を、九州運輸局の主催により平成19年11月30日（金）九州運輸局海技試験場（7階）において開催しました。

九州地区においては、今年で3回目となる今回の船員就業フェアには、海運事業者28社と全国14の都府県から130名の求職者に参加いただいて、面接等件数も397件に上り、当日中に3名の就職が内定し、20名が第二次の採用選考予定者となるなどの成果を挙げることができ、盛会裡に終わることが出来ました。

この船員就業フェアは求人者と求職者の方々にとって有意義な再就職の機会となっております。

開催結果の詳細について別添のとおりです。

< 問い合わせ先 >

九州運輸局海事振興部船員労政課

担当：平川、藤田

092 - 472 - 3159

## 「2007 船員就業フェア in FUKUOKA」開催結果概要

## 1. 参加企業：28社

参加企業名	
< 外航船 > 葉山船舶（株）	1社
< 内航船 > (株)アジアマリン、イノカ・ストラスポート（株）、宇部興産海運（株）、英雄海運（株）、英和運輸（株）、（株）エイワマリン、大分海運（株）、協洋海運（株）、（株）霧島海運商会、栗林マリタ仏（株）、光和興業（株）、佐伯汽船（株）、佐世保マリン・アット・ポート・サービス（株）、瀬戸内中央汽船（株）、鶴丸海運（株）、（有）テイ・エスシップ・マネジメント、（株）テックム、日鐵物流（株）、日本サルヴェージ（株）、浜崎海運（株）、日之出海運（株）、日徳汽船（株）、堀江船舶（株）宮崎産業海運（株）、吉賀海運（株）	25社
< 旅客船 > 九州郵船（株）、阪九フェリー（株）、	2社

2. 求職者等： 130名 学生の随行者は含まない。

状況別	
離職中	18人
在職中	19人
学生	93人

年齢別	
30歳未満	106人
30～39歳	11人
40～49歳	6人
50歳以上	7人

3. 面接等件数： 397件 (1事業者当たり 14.2件)  
 うち 面接： 40件  
 企業説明： 357件

## 4. 当日面接結果

採用・内定： 3名  
 保留： 20名(30件)

## 5 . 参加者からの主な意見

### < 求職者、学生等 >

- ・気になっていることが会社の人に直接聞けたので将来の進路を決めるときの参考になった。 (男性・学生)
- ・とても自分のためになった。女性でも受け入れてもらえる事を知りとても嬉しかった。 (女性・学生)
- ・待ち時間に船舶についてのDVDが見れるというシステムは、待ち時間を無駄に使わないで、良かったと思う。 (男性・求職中)
- ・学校内ではよく分からない会社の求めている船員像をつかむことができた。 (男性・学生)
- ・今回参加した船会社の体験乗船があればよいと思う。 (男性・学生)
- ・半年に一回位は実施してほしい。求人情報を詳しく知りたい。 (男性・在職中)
- ・自分の視野を広げることが出来たと思う。ブースによっては待ち時間が長いところがあったのでその時間を有効に使える事が出来れば良いと思った。 (男性・在職中)
- ・どの会社の説明員の人とても分かり易く説明してもらえたので、聞き易かった。時間が少なかったので時間を増やして欲しい。 (男性・学生)
- ・会社の数を出来るだけ増やして欲しい。 (男性・学生)

### < 参加企業 >

- ・通常求人活動に比べ多くの方と短時間で接することが出来るので大変有意義なイベントだと思う。
- ・採用対象者と直接話ができる良い機会なので、今後も引き続き参加する予定です。
- ・今年は多数の学生が来ていてよかった。
- ・目的(対象)は中途や離職者がメインと思っていたが、新卒や卒業まで数年ある学生がメインという印象がある。それは学校へ希望を出すので、受付で中途者や離職者をメインにすべき。
- ・参加人員が少ない。船員経験者へ参加呼びかけを強く行って欲しい。
- ・即戦力者の来場者が少数だったので、何とかしてほしい。
- ・海上技術学校生のみで即戦力を求めている印象があり、もの足りない。